

第52回西日本勤労者剣道大会

平成25年6月9日（日） 於：高知県民体育館

優勝 高知県警 B 2位 香川県警 B 3位 愛媛県警 A・東レ滋賀 A



高知県警Bが香川県警を1-0で下し、5年ぶり5度目の頂点に立った。3位は愛媛県警Aと東レ滋賀A。県勢はそのほか、高知県A、高知教員Aが決勝トーナメントに進出したが、8強入りはならなかった。17府県から過去最多の361チームが出席。高知県警Bは決勝トーナメントで九電工福岡、愛媛県警B、東レ滋賀Aを破り、決勝に進出。決勝の香川県警Bとは、先鋒の中澤公貴選手が面2本を奪ってリードし、中堅の西村佳記、大将の西山弘一両選手が引き分けて、栄冠を勝ち取った。

第55回全国教職員剣道大会【結果】

平成25年8月12日（月） 於：和歌山県、和歌山ビッグホール



《団体戦》

1回戦 高知2-0 新潟
2回戦 高知0-0 福島
(代表戦で福島が勝ち)

《個人戦》

※高・大・教委の部

1回戦 中山(工大、職員) 中瀬(宮崎県)
2回戦 " " 鈴木(山形県)
3回戦 " " 大石(山口県)

※幼・義務教育の部

1回戦 宮下(明徳中、教) 高瀬(神奈川県)

※女子の部

1回戦 甲田(明徳中、教) 井村(広島県)
2回戦 " " 上地(沖縄県)
3回戦 " " 加藤(秋田県)
4回戦 " " 山田(愛知県)
準決勝 佐久間(山形県)
決勝 宮川(山口県)

【甲田は初優勝】
今回、甲田選手の優勝は高知県選手で初。

第33回 四国教職員剣道大会

平成25年8月19日（月） 於：徳島県

選手（先鋒より）

中越（奈）・谷本・岡本・中越（大）
中山・米澤・竹田・林・矢野・石川
久保・中越（健）・下坂

結果

高知2-2香川（本数勝ち）
高知4-2徳島
高知6-1愛媛
※高知県は3戦全勝で優勝。昨年につづき2年連続。8回目の優勝。



高知県高等学校体育大会

平成25年5月25、26日 於：高知商業

男子個人決勝戦は、明德義塾3年の高橋選手と高本選手の同校対決となった。高橋選手はノーシードで勝ち上がり、対する高本選手は粘り強い試合運びでここまで勝ち上がってきた。決勝戦も両者譲らず緊迫した試合となったが、高橋選手が面を先取すると、続けて高本選手が強引に来たところを小手に合わせ初優勝した。

女子個人決勝戦も、男子と同じく同校対決となった。高知の池上選手は積極的な試合運びで、対する春季大会優勝の市川選手は慎重な試合運びで決勝へ勝ち上がった。試合は時間内に決まらず延長戦に。間合いの攻防から市川選手が攻め思い切りのいい面を放つが、池上選手は動じず返し胴を決め優勝した。

男子団体決勝戦は、明德義塾と小津の対戦となった。先鋒戦

両者譲らず延長戦に、大西選手が鏝迫りから一瞬の隙を逃さず引き面を決めると、続く次鋒大重選手も面を決め2-0に、粘る小津も中堅宇賀選手が面を決め2-1と返すが、副将山尾選手が足の止まった瞬間を狙って逆胴を決め、2年ぶり10度目の優勝を決めた。明德義塾は大会を通じて安定した試合運びで、1日での活躍が期待できる内容であった。

女子団体決勝戦は、秋季・春季大会同様、高知と小津の対戦となった。先鋒五百蔵選手が積極的に攻め、手元をあげた瞬間を見逃さず突きで先行、続く池上選手も延長で小手を決め2-0に、中堅戦では攻めてくる岡崎選手に式地選手が狙いすまして面を決め、5年ぶり10度目の優勝を決めた。

専門委員長 濱田 宏(高知商)

■男子団体
優勝 明德義塾
2位 高知小津
3位 高知・高知商業



■男子個人
優勝 高橋健太郎 (明德義塾)
2位 高本 航世 (明德義塾)
3位 弘瀬 丈士 (高知)
大西 佳輝 (明德義塾)



■女子団体
優勝 高知
2位 高知小津
3位 明德義塾・高知商業



■女子個人
優勝 池上 理麻 (高知)
2位 市川 和果 (高知)
3位 式地 莉菜 (高知)
中井 亜紀 (高知高専)



四国高等学校剣道選手権大会

平成25年6月15、16日 於:愛媛県立武道館



男子団体

- 男子団体
 優勝 明德義塾 (高知)
 2位 琴 平 (香川)
 3位 済 美 (愛媛)
 帝京第五 (愛媛)
- 女子団体
 優勝 高知高 (高知)
 2位 帝京第五 (愛媛)
 3位 高松商業 (香川)
 小 田 (愛媛)



女子団体

- 男子個人
 優勝 高橋健太郎 (明德義塾)
 2位 乙部 竜輝 (琴 平)
 3位 谷林 駿 (帝京第五)
 田村 隆晟 (阿南工)
- 女子個人
 優勝 岡田 春希 (帝京第五)
 2位 富永比奈野 (帝京第五)
 3位 池上 理麻 (高 知)
 玉田理沙子 (徳島文理)

四国大会優勝にあたって

高知高等学校
 女子剣道部主将 式地 莉菜

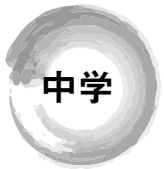
この度、私たち高知高校女子剣道部は念願の四国優勝を果たすことができました。中学の時の監督であった平先生の年代以来の優勝で、少し恩返しできた気持ちです。

冬の四国大会では、帝京第五高等学校に決勝で代表決定戦の末、負けてしまいました。その負けた悔しさもあり、チームみんなで「絶対に勝つ」という気持ちで挑みました。

今回も代表決定戦になり、大将の市川が長い延長を辛抱強く戦い、見事な引き面をとって勝負を決めてくれました。

高校1年の四国大会では予選敗退などが多く、なかなか勝ち上がるのができませんでした。が、ひとつの勝負を「一日懸りでの・・・」という信念を合い言葉に、自分に負けない気持ちを積み上げてきました。

これまで諦めずに続けてこれたのは、高知県内の先生方や保護者の支えがあったからこそだと、選手一同感謝しています。本当にありがとうございます。



第67回高知県中学校総合体育大会剣道の部

平成25年7月22日(月) 於：野市青少年センター

■男子団体

優勝 明德義塾 2位 高 知
3位 野 市 土佐塾



■男子個人

優勝 金子(大 方) 2位 唐岩(高 知)
3位 平田(明德義塾) 中澤(明德義塾)



■女子団体

優勝 大 方 2位 高 知
3位 香我美 雀 川



■女子個人

優勝 島崎(高 知) 2位 宇賀(野 市)
3位 市原(香我美) 吉本(清 水)



女子大方中23年ぶりの栄冠 男子明德義塾中4連覇

男子団体決勝戦は、明德義塾中对高知中、県春季大会と同じ顔合わせ。先鋒中澤の一本勝ちで先制した明德義塾中、次鋒山崎も粘って引き分け、中堅江川の一本勝ちで王手をかけた。副将住が高知中五百歳の猛反撃を退け、この瞬間に優勝が決まった。大将平田は貫禄の二本勝ちで4連覇を果たした。

女子団体決勝戦も県春季と同じ顔合わせ。県春季では高知中が僅差で勝利。先鋒戦は両者譲らず引き分け。次鋒永野の一本勝ちで調子付いた大方中は、続く中堅戦、女子個人チャンピオンの島崎に対して一步も引かず攻め続けた浜口が値千金の引き分け。副将岡部は「自分で勝負を決める」その気迫のこもった攻めから、見事な面で勝利を決めた。四国新人優勝に続いてのビッグタイトルに、全国での活躍にも期待がかかる。

男子個人は、金子(大方中)と唐岩(高知中)との対戦。準決勝で優勝候補筆頭の平田(明德義塾中)に二本勝ちで勝ち上がった金子(大方中)の勢いは止まらず、決勝戦では、県春季個人優勝の唐岩(高知中)から見事な面を決めて初優勝を果たした。

女子個人は、混戦の中から、島崎(高知中)、宇賀(野市中)が勝ち上がった。2年生ながら落ち着いた剣さばきの宇賀(野市中)に対し、3年生としてのプライドで攻め立てた島崎(高知中)の面が見事に決まり、優勝を収めた。

中体連剣道専門部長 谷本 吉弘